

「ヒトおよび伴侶動物由来細菌の遺伝的類似性の検討における前向き観察研究」へのご協力のお願い

田村 豊
(北海道獣医師会 副会長)

高良 広之
(小動物臨床部会 担当理事)

農林水産省は、今後の薬剤耐性菌問題に関して、家畜からペットに対策が移行しています。しかし、農林水産省のペットに関する耐性菌調査は始まったばかりで、ヒトとの関連は対象外となっています。ペットと飼い主の距離は近いので、家庭内でペットと飼い主さんの間で耐性菌が伝播していると思いますがデータがない状態です。そこで札幌医大の佐藤豊孝講師（酪農大獣医学部食品衛生学教室出身）と、家庭内での犬とヒトの耐性菌を調べる共同研究を実施しています。本研究には動物病院院長のご協力が是非とも必要なので、よろしくお願いします。

記

研究課題名：ヒトおよび伴侶動物由来細菌の遺伝的類似性の検討における前向き観察研究
研究機関：札幌医科大学医学部微生物学講座
研究実施者・責任者：佐藤豊孝講師・横田伸一教授

＜研究の目的および意義＞

本研究は、最も身近な伴侶動物と飼い主の間に薬剤耐性菌がどの程度伝播しているかを評価することを目的としています。本研究により、伴侶動物由来耐性菌のヒトへの健康危害のリスクを明らかにすることが可能になり、伝播経路を遮断する新たな対策に有益な科学的知見を提供できます。

＜研究の対象・方法と予定研究期間＞

- (1) 対象：札幌市内およびその近郊の動物病院に来院する伴侶動物と飼い主さん
- (2) 観察・検査項目：伴侶動物およびその飼い主さんの糞便サンプルから細菌を分離し、得られた細菌の薬剤感受性試験と遺伝子解析を行う
- (3) 予定研究期間：令和元年 7 月 11 日～5 年 3 月 31 日
(札幌医科大学一般倫理委員会にて承認済み)

＜依頼事項＞

- ・伴侶動物またはその飼い主さんの糞便サンプルの提供
(採材器材などサンプルの輸送・解析に関わる費用は全て札幌医科大学で負担いたします)

＜成果の報告＞

- ・得られたデータは全て協力者に還元いたします。飼い主さんへの情報提供、薬剤耐性率や耐性パターンのデータなど各病院でお役立て下さい。
- ・関連学会での演題発表や学術誌への論文投稿を行う場合があります。(病院と各データとの関連性や個人情報が見えなくなることはございません。)

本研究にご協力いただける先生は下記までご連絡を宜しくお願い申し上げます。

連絡先：札幌医科大学医学部微生物学講座 佐藤 豊孝
〒060-0061 札幌市中央区南1条西17丁目
札幌医科大学基礎医学研究棟12階
TEL: 011-611-2111 (内線 27190/27110)
E-mail: sato.t@sapmed.ac.jp